

# ASUMIN

# No.

# Q

# E

# N



[あすみんノート]

2023 Spring

# 31

No.

Gather everyone's strength

Special Issue

## 仲間を集めるチカラ

Voice

立花祐平(認定NPO法人改革プロジェクト)

GOOD ACTIVITY FILES

福岡福祉向上委員会  
NPO法人はるよし

@DATA

社会の価値を生んでいくマッチング、共働の機会創出へ

Asumin Information

Asumin Recommend

福岡市NPO活動推進補助金

Hondana!

やっかいな問題はみんなで解く

Organization Introduction

登録団体紹介:登録番号856~868

Gather everyone's strength



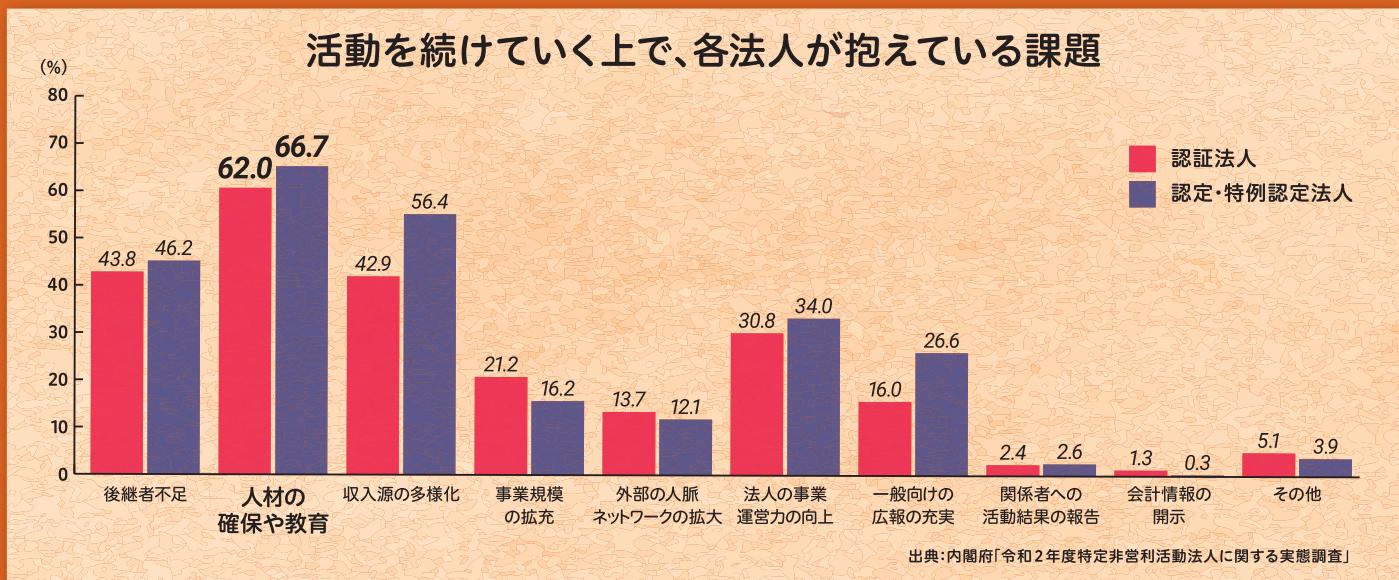
少子高齢化による「担い手不足」の実感が強まり始めている昨今。社会課題に取り組むことが命題のNPO・ボランティアの現場でも、その「母数(人口自体)が減少している」という現実の余波を受ける、感じている方は多いかと思います。

より理解を広げて支援者とつながりたい寄付型NPO<sup>\*1</sup>でも、強力なパートナーを迎えて活動を広げたい事業型NPO<sup>\*2</sup>でも、内部や外部のメンバー、協力者の持つさまざまな力を結集させて、ヴィジョンの実現に近づきたいという想いは同じです。

今号のあすみんノートでは、さまざまなアイデアやノウハウ、姿勢で、もちろん試行錯誤も重ねながら、人の力をを集め、より良い社会的成果を目指すことを考えてみます。

※<sup>1</sup> 寄付金等を主な収入源とするNPO法人

※<sup>2</sup> 総収入に占める事業収入の割合が高いNPO法人



# VOICE

ボイス

認定NPO法人改革プロジェクト

立花 祐平さん

Yuhei Tachibana

「やってみよう」が全ての始まり  
仲間の集め方も知らなかった。

子どもの頃から「冒険家になりたい」と思っていたんです。その延長線ですかね、漠然と地域の役に立ちたいなと考えて、なにかやってみようと思って。友達を誘って、元々

関心のあった自然に関わる清掃活動を始めたのが最初です。初めは月一回、1時間程度の

活動をしていました。勤務地は天神だったんですけど、知り合いが少なかったので活動の中心は地元の宗像でした。始めたきっかけは、社会に何か貢献したいと思った時に、清掃活動しか自分から動けるのが思い浮かばなかったから。一番活動を始めるのに手っ取り早いし。そのときはそれしか思いつかなかったから。逆に誰かに動いてもらう発想がなかった。また、人を動かせるとも当時は思っていないかたし、動かし方もわからなかったんです。いろいろと動いている中でNPOが自分で作れることを知り、組織を作りました。当時はNPOで食べていけるとは考えていなくて、基本「遊び」のような感覚というのか、あまり重いミッションも課さず、「楽しい」と思えることを先行させていました。

**パトラン**  
PATROL RUNNING

▲パトランはロゴやブランドにもこだわりが

今号のVOICEでは、「スポーツで挑む、社会課題」というテーマを掲げて活動する「認定NPO法人改革プロジェクト」の代表理事 立花祐平さんにお話を伺いました。

気持ちが変わったのは、その後「パトラン」が始まって、関わる人が増え始めた頃です。

**「良いこと」だけでは続かない  
試行錯誤。「パトラン」誕生へ**



▲初めは少人数から徐々に仲間が増えました

知人の女性が、自宅に帰る途中に不審者の被害に遭って、その時に初めて、こんなに近くに困っている人がいることに気づきました。本当に驚きました。

当時は環境活動をしていましたが、活動分野を限定していたわけではありませんでしたので、今自分にできることはなんだろうって考えるようになりました。その女性も精神的にかなり傷ついていて、同じ道が通れなくなる、男の人が怖いと感じるなど、生活に支障が出ていました。そこで、きっと同じように困っている人がいるはずと考えたんです。一番最初はFacebookの情報発信から。でも全然誰も見てくれなくて。だから説得力を持たせるために

えよう」、「暗いところに行くからライトを準備しよう」という感じで、一つ一つ試行錯誤しながら作っていました。途中たくさんの失敗もありました。地元の企業からも「若者が自己満足で走っているだけでいい迷惑だ」という内容のクレームをもらったりすることもあります。絶対に3年は続けようと心に決めたので、今はクレームに感謝しています。

**仲間集め、担い手集めの試練  
ルールや姿勢作りで活動継続へ**

「パトラン」の活動を始めてから1年くらいで新聞が取り上げてくれました。そこから外部の人も興味を持って参加してくれるようになり、少しづつ雰囲気も変わってきました。2015年に住友生命のNPOや地域の活動を応援するプログラムにエントリーしたら、たまたま大賞に選ばれて、そこから浅田真央さんが参加したり、テレビで紹介されて広がり始めました。その頃、他の県でも「やりたい」方が始めました。

最初はパトランチームを立ち上げるのにルールがなかったので、やりたい方にユニフォームを渡していました。ただ活動をする人が一人しかいなかったら、その人が飽きたら続かないんです。そこに仲間が集まってくれることはあるかもしれないですが、運営の根幹を握っている人がやらなくなったら、活動の継続が厳しくなる。それでなくなりたったチームがいくつかあります

した。ルールもなく個人依存になっていたことを経験して反省し、そこから1個1個見直し、ルールを少しだけ厳格にしてきました。現在のルールでは、1チーム5人の幹部メンバーを集める必要があります。またプレの期間を設けて、チーム化するまでのハードルを上げました。最低でも半年から1年は活動して、ようやくチームとして認めるようになります。今は各地にチームがあって、代表者の方と定期的にオンラインでミーティングをしているのですが、そこで新しくチームになる希望者に、活動に対する想いを話してもらいます。OKが出たらチームを承認する仕組みを作りました。厳しい過程を通じて土台を築いていくので、何かあっても懸念なくなりにくくなります。そこが大きいですね。そういった過程を経るのでチーム承認が厳しくなっています。

**スポーツを「経験」「感じる」機会に  
「楽しい」に継続のヒントがある**

「パトラン」以外で今力を入れているのは「アドベンチャー」です。アドベンチャーはランナーの方が清掃活動する機会を作るために出来たのもので、2019年から始めて今年で4回目。マラソンと社会貢献を組み合わせたものです。きっかけは、活動への参加者が固定化してしまってきたこと。環境問題や社会課題に関心のある、志高い人たちの外にいる層の人たちが



▲アドベンチャーでは、普段運動しない人たちも、みんなが集まって楽しく走っています

気軽に参加できる仕掛けをつくりたいと思い、そのためのアイデアとして、マラソンとポイントラリー的なものを組み合わせたものを考えました。1チーム、2~5人単位でエントリーするので、当日は、約150~200人の参加者が1つのまちを走って、経験値を競います。チェックポイントを地域に12~13ヶ所設置し、そこで求められるクエスト(課題)をクリアしていく仕組みです。しかし、ここ最近は「楽しい」という言葉を使えるようになった。やっぱりソーシャルな活動も楽しいことが前提じゃないと続かない。しかし、「楽しい」と人が集まるし、そこに人が集まってきた新しい関係が生まれるかもしれない。楽しみ方もいろいろあるし、「ウェルビーイング」とかが流行ってきて、個人が楽しむことが継続の秘訣になってきたのかもしれませんね。

認定NPO法人  
改革プロジェクト

2010年設立。スポーツを活用した「環境保全活動」「防犯活動」の両輪で活動をする。環境分野では海辺清掃や、2013年「社会貢献マラソン」を開始。防犯分野では2013年「パトラン」開始。同年NPO法人となる。2018年スポーツ振興賞「長官賞」受賞。2020年認定NPO法人へ。同時に登録ランナー2,000人突破など全国で活動を拡散中。

<https://www.kaikaku-prj.com/>

## GOOD ACTIVITY FILES

### グッド・アクティビティ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。  
ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

**47** 福祉で働く方のため、  
傾聴・共感・受容で福祉職を支援

福岡福祉向上委員会

福祉の向上のために、2016年に活動を始めた「福岡福祉向上委員会」。職場での悩みを共有し、共に働く空気をつくるための、「福福おしゃべり庭」「福福セミナー」「福福お悩み相談室」の3つの「場」の提供を行なっています。その他、福祉業界を盛り上げるため、「ふくおかカイゴつながるプロジェクト」など、多くのイベントに携わっています。

**48** 人との触れ合いを感じる住みやすいまち、  
訪れて楽しいまちをみんなでつくる

NPO法人はるよし

春吉地区を拠点に、「新たなまちづくり」に取り組んでいます。「全力で楽しむこと」をモットーに、酒の席での関係作りも大切にしている団体で、2019年からは、糸島の農家と福岡の酒蔵と一緒に、オリジナルの日本酒「晴好」を毎年造っています。はるよしエリアの清掃活動「はるよしをキレイに」に、世代を超えた多くのメンバーが参加しており、地域とのつながりを大切にしています。



▲今では17の公式パトランチームが全国で活躍しています



Tag:

## #社会の価値を生んでいく マッチング、共働の機会創出へ

教えてくれた方

福岡市市民局コミュニティ推進部  
市民公益活動推進課 企画推進係

増岡 勇平

Yuhes Matsuoka

福岡市市民局コミュニティ推進部  
市民公益活動推進課 NPO認証・認定係

船木 紀子

Noriko Funaki

NPOと行政の  
活動を繋げる  
レ

### 認証は減少、認定はプラスの傾向

統計【Data1】では、福岡市内のみに事務所があるNPO法人は、平成27年度がピークで減少、全国的に見ても平成29年度をピークに減っています。東日本大震災後、九州でも熊本地震や九州北部豪雨など大きな災害もありましたが、NPO法人の数は増えています。これは新しく設立する法人よりも解散する法人の数が多いのです。解散の理由としては、世代交代がうまくいかなかったからというのもあれば、ミッションが達成されたからというものもありさまざまです。高齢化、コロナの影響もあり、設立時はいた仲間がだんだん集まらなくなり、結果的に解散する団体もあるようです。

ただ、全体の数自体は減っていますが、新しく設立される団体は一定の数あります。設立の理由もさまざまですが、活動が大きくなってきた、契約手続きが発生し任意団体では大変になってきた時などに、NPO法人化される方もいます。NPO法人の新規設立認証の数は毎年、20~30団体ほどあります。【Data2】

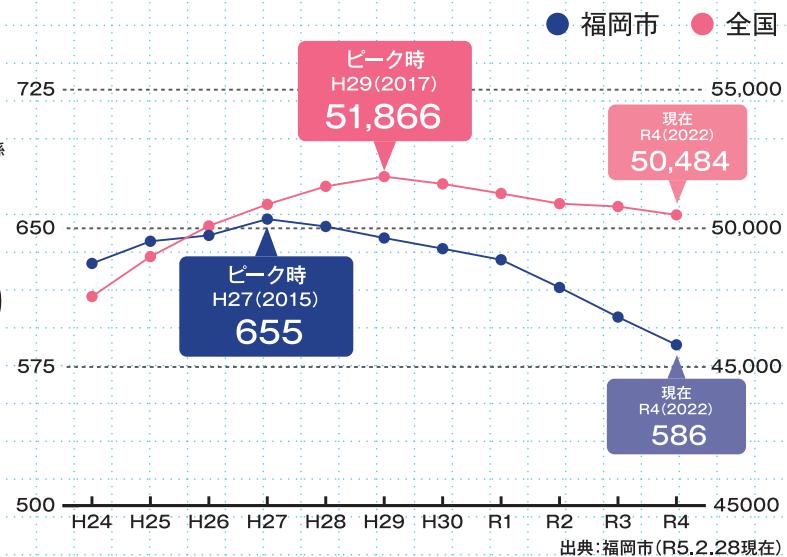
活動自体をオンラインにうまく対応させることで、活動の幅を広げている法人もあります。

認定NPO法人とは組織運営や事業活動が「適正だ」と所轄庁の認定を受けたNPO法人になります。法人の事務負担は増えますが、寄付者、企業、助成団体の方に安心感を持ってもらえる、寄付自体を集めやすくなることもあります。認定を目指しているNPO法人は増えています。

「@データ」は、市民公益活動に関わるさまざまな「データ」をもとに、詳しい方の意見を聞いたり、考えるきっかけをつくるコーナーです。

### \* Data 1

福岡市所轄のNPO法人は令和5年2月末時点で586団体。  
福岡市内のみに事務所があるNPO法人の推移



### もっと共働が生まれる社会づくりへ

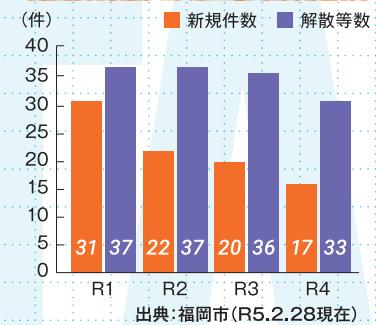
ルーツは平成20年から開始している「共働事業提案制度」で、そこで129の提案と、44の事業実施が行われたことで、市やNPOに共働のノウハウが蓄積されました。一方、同提案制度に提案するNPOが減ったり、固定化されたことから、見直しを行い、令和3年に生まれたものが「共働テーブル」です。「多様な主体との共働」を目的として、市民公益活動推進課で、NPOと行政との相談や提案を受ける窓口として誕生しました。【Data3】

事例として、NPO法人いるから、「福岡市全域に子ども食堂を広げていきたい」と共働テーブルへ相談があり、まずは、西区で活動を広めたいとのことだったので、団体と西区地域支援課をマッチングし、一緒に協議する場を作りました。その結果、活動を自治協議会や、公民館に話した方が良さそうとなり、その人たちが集まる会議で事業の説明をしました。説明後は反響があり、11校区の公民館で子ども食堂が開かれ、300名近く参加されました。しかし実際にこのような相談はまだ少ないので、「共働テーブル」をもっと広めていきたいです。

NPOが市と何かをしたいけど、「担当課に直接話を持って行きづらい」、「どこに相談していいかわからない」という双方の思いをうまくマッチングさせたいです。将来的には、市のどの課の職員もNPOの話を聞くマインドができ、NPOと市が知恵やノウハウを持ち寄り、さまざまな課題を解決していくことが理想です。

### \* Data 2

福岡市のNPO法人  
新規・解散等件数



### \* Data 3

福岡市共働テーブル

NPO等と行政が課題解決のため、知恵や力を合わせ取り組む「共働」をサポートする場であり、相談内容に応じて、市の担当部署との協議の場をセッティングします。協議の場に市民公益活動推進課の職員も参加します。



← 相談・提案 ← サポート

## あすみんのオススメ

Asumin Recommend

## 福岡市NPO活動推進補助金

福岡市では、市民・企業・団体の皆さんから「福岡市NPO活動支援基金(あすみん夢ファンド)」にお寄せいただいた寄付金をもとに、NPO法人の公益的活動に対し、補助金を交付しています。

毎年3月～4月頃に募集を開始いたしますので、補助対象事業や申請方法等の募集要領は、福岡市HPをご確認ください。詳細は福岡市市民公益活動推進課(092-711-4283)までお問い合わせください。

## 福岡市NPO活動推進補助金

## ● ファーストステップ※(設立3年未満のNPO法人限定)

補助上限回数 通算2回

補助上限率 補助対象経費の80%

補助上限額 10万円

詳しくはHPへ↓

## ● ステップアップ

補助上限回数 通算3回

補助上限率 1回目補助対象経費の80%

2回目補助対象経費の70%

3回目補助対象経費の60%

補助上限額 50万円



※ファーストステップからの申請で、最高5回補助金の交付受けることができます。

## ホンダナ！ HondaNa!

あすみんの図書コーナーに  
所蔵している書籍をご紹介！

## やっかいな問題はみんなで解く



【著者】堂目卓生 山崎吾郎

【発行社】世界思想社

【発行年】2022年

ISBN:978-4-7907-1773-7

定価:2,200円(本体2,000円)

判型:4-6

ページ数:256

新型コロナウイルスや、自然災害、気候変動に紛争など、昨今我々の周りにはさまざまな社会課題が存在しています。これらの社会課題は、立場や考え方によって意見が異なり、「みんな」が合意できる解決策がない「やっかいな問題」です。この本は、「やっかいな問題」に関するアプローチの方法や、その問い合わせを認識し「みんな」で解くとはどういうことか考えさせてくれる一冊です。

## 登録団体紹介

Organization Introduction

## あすみんに登録された団体を紹介します。(登録番号856～868)

● SOJAP

● kiramekiラボ

● 福岡マネースクール スペクタクル校

● 一般社団法人言葉のかけはし

● 福岡帰国子女の会

● 一般社団法人 キャリスマ

● NPO 子ども育成プロジェクト「Revival」

● 性教育 ボランティア ルル

● ガン生還者の会 希望

● 糟屋いのちを大切にする会

● 特定非営利活動法人福岡ミュージック・エイド

● 福岡市原爆被害者の会

● サステナブル社会事業推進協議会“燈ともり”

## 利用団体登録について

check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。登録に必要な書類は、右の(1)～(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

## 登録に必要な書類

- (1)福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2)団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3)活動計画書
- (4)これまでの活動実績がわかる資料
- (5)役員名簿
- (6)自己チェックシート
- (7)申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

## 福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住 所】〒810-0021 福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】https://www.fnvc.jp

【開館時間】月～土曜 9:00～22:00 日・祝日 9:00～18:00

【休 館 日】第4水曜日、年末年始 12月29日～翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 地下鉄をご利用の場合 | ●七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分 |
| バスをご利用の場合  | ●西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分      |
| 電車をご利用の場合  | ●西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分   |

